



豊中市立第十五中学校  
子ども支援CO



2021.5.6

大阪府教育委員会では課題のある中学校に子ども支援コーディネーターを配置し、学校全体の指導体制の充実と家庭、地域や警察の関係機関との連携により、学校の総合的な問題解決機能の向上を図っています。子ども支援コーディネーターの主な任務は、以下のとおりです。

- 学校の持つ教育機能を総合的に向上させるコーディネーターとして、学校内外にわたって活動する。
- 中学校の教育指導の核となり、学校における教育力を向上させることによって、学校内の指導体制の充実を図る。
- 家庭、地域や警察等の関係機関との連携を担うことにより、学校外からの生徒指導サポートの充実を図る。

子どもにつけたい力

- ① 自尊感情・自己肯定感
- ② 主体的に生きる力
- ③ 忍耐力・協調性
- ④ 優しさ・思いやり
- ⑤ 基本的な生活習慣の定着
- ⑥ 規範意識の醸成
- ⑦ 人間関係調整力
- ⑧ コミュニケーション能力
- ⑨ 確かな学力・人権感覚
- ⑩ 美化意識

コーディネート機能向上

- I 生徒指導体制の充実
  - 教員集団
  - 学校運営
  - 生徒指導
- II 特色ある教育活動
  - 学習
  - 学校環境
  - 学校文化
- III 地域との連携
  - 地域・他機関・校種
  - 家庭連携

※大阪府教育委員会の発行している冊子「コーディネート機能向上のために」より抜粋。

「子ども支援コーディネーターの仕事ってなんだろう。」「あの先生は、何をしてはんねんやろ。」とっておられる先生、そして自分のためにもう一度冊子を読みなおし、ダイジェスト版を右のページに掲載しました。これを読んでもピンとこない先生もおられるかもしれませんが、どんな些細なことでも「？」となったら声をかけていただけたら嬉しいです。いろんな先生が持っておられる知恵や、アイデアをつなげるような動きをしたいと思います。

色んな事を教えていただけたらうれしいです。

今、十五中ではいろんな生徒がいます。生徒のための、居場所を作って、中学卒業後の将来につながるようにしていきたいと思っています。そのためには、学年、学校全体で豊かなつながりを生み出す生徒指導を行うことが必要です。そのためには気持ちのそろった教職員集団を作り上げていくことが必要です。

ケース会議、生徒会活動、学校生活、アンケート、授業、教室以外の活動、小学校との連携、地域や保護者との連携も含めて様々なところとつながって取り組んでいけたらと思います。

4月から約一か月間いろんな先生のやり方を観察していて、これはもっといろんな先生に知っていただきたい。一緒に授業や取り組みをすることによってもっと充実したものになりそうだなあ。なるほどなあ。と感ずることがたくさんありました。まずは一年間、様々な取り組みに積極的に参加して情報を発信していきたいと思っています。